

Smile & Heart

浜田医療センター情報誌 **スマイル&ハート vol.53**

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰り
ください

2020年 1月号

ホームページ <http://www.hamada-nh.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>
🔍 浜田医療センター で検索！

特集／ **薬剤関連
顎骨壊死について**

歯科口腔外科 辰巳 博人

**放射線治療専門
放射線技師について**

地域人vol.39

「元気な故郷、住みやすい町を目指して」

旭町和田公民館 館長 早田 末男

地域のホスピタリティを訪ねて

有限会社 齋藤アルケン工業
代表取締役社長

齋藤 憲嗣





巻頭言 〜次の時代に向けた病院機能〜

浜田医療センター院長

石黒眞吾

新年明けましておめでとうございます。
浜田医療センターは浜田圏域の中核病院として良質な医療の提供ができる病院を目指していきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年4月にも述べましたが長年掲げてきていました当院の理念を「医療を通じて「地域で生きる」を支援する」に変更いたしました。浜田医療センターは浜田医療圏域において多くの高度急性期・急性期患者を受け入れている病院であると同時に、地域住民の多様なニーズに対応しなければならない医療機関でもあります。

少子高齢化の最前線を走っている地域でありながら、これまでは急性期患者を対象とした「治す医療」を中心に据え、医療の高度化に対応することを主な目的としてきました。地域で完結できるように医療レベルを上げるには医師数を確保することとであると考へ、ここ10年間走ってきました。県の医師確保対策が徐々に実を結んで来たことや大学からの医師派遣状況も変化し、この3年で医師数は研修医を含め70名体制となりました。しかし、国の社会保障政策として財政難と少子高齢化へ対応するための新たな医療・介護へのパラダイムシフト、すなわち急性期医療は縮小・集約化され、介護・在宅へのシフトが押し進められ、当院は生活支援型の急性期病院としての顔も必要となりました。

現在、救急救命センターを掲げる高度急性期として見合った医療レベルが維持できているかと言えばなかなか厳しいものを感じます。一方で、回復期病棟(回復期リハビリ、地域包括ケア)と緩和ケア病棟を持ちながら地域のニーズに対応してきました。しかし、老老介護世帯や高齢独居世帯が目立つ昨今、皆さんがそのまま在宅復帰できるとは限りません。その後の受け入れ先となる慢性期病床や介護施設との連携に行政を含めた地域ぐるみの連携と模索がまだまだ必要かと思われます。

今後の問題は、高齢化ではなく少子化と人口減少です。背景人口が減っていく中で、今までの様に医師を集めて高度な医療を提供すれば良しとする時代は終焉を迎えました。当院が必要な医療のレベルがどのあたりにあるのか、将来的な人口動態を見据えた医療の需要を推定し、医療レベルとそれに見合った医師・看護師の適正数、医療機器整備を検討していく時代なのです。住民の方の理解も必要です。特に人生の最終段階を迎える高齢者の方においては、最後まで高度な医療でもって病気と闘う必要があるのか、ご自身がどのような最後を迎えたいのか、ご家族をどのように看取りたいのか、医療により生きながらえることが本当に幸せなのか、患者さんも医療者も問われていると思います。

本年もよろしく申し上げます。

浜田医療センターの理念

医療を通じて

「地域で生きる」を

支援する

基本方針

1. 安全で良質な医療の提供
2. 患者に寄り添った医療
3. 介護、福祉との連携
4. 地域の町づくりに貢献
5. 地域住民と職員の健康増進
6. 持続可能な健全経営

患者さんの権利

- ・ 人格・価値観が尊重される権利
- ・ 良質な医療を受ける権利
- ・ 十分な説明と情報を得る権利
- ・ 自己決定の権利
- ・ 個人情報を守られる権利

当院を身近に知っていただくため公式ホームページ及び公式 facebook を作成しています。一度ご覧ください。

ホームページ

<http://www.hamada-nh.jp/>



facebook

<https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>



浜田医療センター で検索!

contents

- 2 巻頭言 ～次の時代に向けた病院機能～
- 3～5 薬剤関連顎骨壊死について
(薬剤関連顎骨壊死とは?その予防法について)
- 6 病棟紹介：4階南病棟／新任医師紹介
- 7 がん治療の経験者と話してみませんか
- 8 研修医だよ!
- 9 認定看護師の活動について
- 10～11 国立病院総合医学学会に参加して
- 12 放射線治療専門放射線技師について
- 13 防火避難訓練を実施して
- 14 地域のホスピタリティを訪ねて
- 15 地域人 vol.39
- 16～17 看護学校だよ!
- 18 はまごち
- 19 冬の特別メニュー／職員募集
- 20 外来診療担当医表

薬剤関連

顎骨壊死について

(薬剤関連顎骨壊死とは？その予防法について)



歯科口腔外科

辰巳 博人

【たつみ・ひろと】

- ・日本歯科大学新潟歯学部：平成18年卒業
- ・医学博士
- ・日本口腔外科学会認定口腔外科専門医
- ・日本がん治療認定医機構がん治療認定医(歯科口腔外科)

薬剤関連顎骨壊死って何？

みなさんは薬剤関連顎骨壊死という言葉聞いたことがあるでしょうか？例えば、内科の先生や整形外科の先生などから骨粗鬆症の治療薬を開始するときに、「歯医者さんにはかかっていますか」とか「歯医者さんにまず受診してください」などと言われることがあるかもしれません。もらった骨粗鬆症治療薬のパフレットにも顎の異常を認めたら医師、歯科医師、薬剤師に相談するように注意書きが書かれています【図1】。



【図1】 ボナロン 患者向けパンフレット 帝人ファーマホームページより

これらの薬剤はビスホスホネート(BP)製剤とよばれ、骨吸収を阻害する薬剤で、骨転移を有するがん患者さんや骨粗鬆症患者さんに広く使われています【図2】。ところが2003年にBP治療を受けている患者さんに難治性の顎骨壊死が生じることが報告されました。

近年では、骨粗鬆症やがんの骨転移に対する新たな治療薬としてデノスマブという薬が使用されるようになりました。この薬もBP製剤と同様に顎骨壊死が発症します。

さらにはがん治療において抗がん剤などの投与を受けている患者さんでは顎骨壊死の発症率が増加することから薬剤関連顎骨壊死と呼ばれるようになっていきます。

なぜ顎の骨が壊死するの？

薬剤関連顎骨壊死がなぜ顎の骨に起こるのでしょいか。それは、

- 1 顎の骨は歯を介して直接口の中の感染源が骨に到達する。
- 2 顎の骨を包む口腔粘膜は非常に薄く、食事や日常生活で容易に傷が付く。
- 3 口腔内には感染源として、歯垢(歯の汚れ)中に800種類以上、千億～1兆個/m²もの細菌が存在する。
- 4 虫歯や歯槽膿漏などを介して顎の骨に炎症が広がりやすい。
- 5 抜歯やインプラントなど歯科治療により顎の骨は直接口腔内に露出しやすい。

このように顎の骨は他の部位の骨と比較して極めて感染しやすい環境下にあり、その環境が薬剤関連顎骨壊死の発症に深く関与していると考えられています。

どのくらい発症するの？

- 1 骨粗鬆症の患者さん：内服薬では年10万人あたり1～69人、注射薬では年10万人あたり0～90人程度の発症と言われます。
- 2 がん患者さん：一般的に顎骨壊死の発症は骨粗鬆症患者さんよりも高いとされています。デノスマブ、BP製剤とも2%程度の発症率と言われています。

剤形	製剤名 (一般名)	薬効薬理	製造販売元
注 射 薬	アレディア (750mgの注射剤・150mgの錠剤)	悪性腫瘍による骨転移による骨痛	ノバルティスファーマ
	オンクラスト テイロック (150mgの注射剤・300mgの錠剤)	悪性腫瘍による骨転移による骨痛	三井製薬 興人ファーマ
	ビスフォナール (30mgの注射剤・150mgの錠剤)	悪性腫瘍による骨転移による骨痛	アステラス製薬
	ゾメタ (80mgの注射剤)	悪性腫瘍による骨転移による骨痛 多発性骨腫瘍による骨病変 及びがん転移による骨病変	ノバルティスファーマ
錠 剤	ダイドロネル (150mgの錠剤・750mgの錠剤)	骨粗鬆症 下部気管に付着する気管炎及び行動時呼吸器症状の骨質 骨粗鬆症、関節炎、腰痛症	大日本住友製薬
	フォスマック ボナロン (150mgの錠剤・750mgの錠剤)	骨粗鬆症	三井製薬 興人ファーマ
	アクトネル ベネット (150mgの錠剤・750mgの錠剤)	骨粗鬆症	味の素 (商品名：エーザイ) 武田薬品工業 (商品名：ロイス)

【図2】 国内で販売されているBP製剤
日本口腔外科学会 ビスホスホネート系薬剤と顎骨壊死より抜粋

んにかかる時代とされています。そのため骨粗鬆症、がんどちらの患者さんでも発症率は極めて低いのですが、2011年から2013年に行われた全国調査では4,797例の薬剤関連顎骨壊死の患者さんが報告されています。

発症のリスク因子は？

一般的には顎の骨が負担をかける歯科治療（抜歯やインプラント、歯槽膿漏の手術）、合わない入れ歯の使用、口の中の衛生状態の不良による歯槽膿漏や虫歯の悪化などが挙げられます。また基礎疾患では糖尿病や関節リウマチ、腎透析や骨軟化症など感染に弱くなる病気や骨の病気があるとリスクが高くなります。他、喫煙や飲酒、肥満などが言われています。

どんな症状が出るの？

発症初期では歯周ポケット（歯と歯肉の間の溝）が深くなる、歯が動揺する、口の粘膜に潰瘍ができたり、腫れたり、膿がたまったりします。また口が開きづらくなったり、下唇の感覚が鈍くなったり麻痺したりすることもあります。病気が進行すると口の中に顎の骨が露出するようになってきます。場合によっては露出した骨の周りに発赤や痛み、腫れ、排膿が生じます。最終的には顎の骨が広範囲に壊死を起こし病的骨折（もろくなった骨が本来骨折しないような外力で骨折する状態）や顔の周りや頸部まで腫れ、皮膚に瘻孔（膿の出口）形成、排膿することもあります【図3】。

治療法は？

顎骨壊死の程度により治療方法は異なってきます。初期の段階では骨が露出した部位の洗浄を行ったり、抗菌薬を内服したりします。病気が進行していくと壊死した骨の摘出を行ったり、さらに広範囲に顎の骨が壊死したり、口腔外に排膿を認めるようになると顎の骨を切除することがあります。近年は比較的早期に炎症の広がった顎の骨を切

除することが顎骨壊死の進行を防ぐといわれています。

予防法、歯科治療はどうしたらいいの？

一番の予防方法は口の中を清潔に保つことです。これらの薬剤を使用してからは、可能な限り顎の骨に傷をつけたり、炎症が広がるような歯科治療を避けることが大切です。そのため薬が開始になる2週間前にはすべての歯科治療を終えておくのが望ましいとされています。しかし実際にはがんの治療のため薬の使用が遅らせられない場合、骨粗鬆症のため骨折のリスクが高い場合などは薬などを使用し歯科治療を並行して進めなくてはなりません。

薬を使用してから虫歯の治療や歯石の除去、入れ歯の作成など大半の歯科治療は通常の患者さんと同様に受けることが可能です。しかし抜歯は、数年前までは一定期間、薬の休薬を行ったうえで行っている時期がありました。しかし最近では、薬をやめることにより骨粗鬆症の悪化や圧迫骨折が起こったりします。また、短期間の休薬後に抜歯を行うことが薬剤関連顎骨壊死の発症予防に効果を示すか不明です。そのため現在では基本的には薬を休薬することなく、抜歯前に抗菌薬を使用し十分な感染予防を行ったうえで抜歯を行います。休薬が必要な場合は医師、歯科医師が協議の上決定しますので、間違ってもご自分の判断で勝手に薬をやめてはいけません。

さいごに

薬剤関連顎骨壊死は、特に歯を抜いたり、口の中に傷を作らなくても発症したりと不明な点多々あります。歯がなくても入れ歯による傷から感染が起こり、発症する方もいます。しかし、そもそも発症率が低く、適切な口の中の管理を行えば発症を予防することができます。BP製剤やデノスマブは非常に大切なお薬です。そのため、薬を使用するからあわてて歯科医院を受診する、たくさん口の中を治療しなくはいけないから薬の使用が遅れてしまうなどということがないように、常日頃から口の中の衛生状態に気を付け、悪いところがなくとも定期的に歯科医院を受診することが大切です。



【図3】 薬剤関連顎骨壊死の口の中の骨露出と顎の下の瘻孔 顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー2016から抜粋

病棟紹介

4階南病棟

4階南病棟 看護師長 佐々木 亜弥



地域包括ケア病棟は入院治療後、病状が安定した患者さんに対して在宅や介護施設への退院に向けた治療や支援を行う病棟です。退院後の療養に不安があったり、在宅での療養に準備を必要とする患者さん・ご家族に対して、退院後の生活をイメージしながら安心して退院していただけるように支援していきます。

地域連携室看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーなど様々なスタッフと連携しながらチームで退院支援をすすめています。



退院支援カンファレンスの様子

患者さんが安心して自宅退院が出来るように、患者さんに合わせて看護師と共に内服準備練習をしています。内服カレンダーから食後に内服する薬をとりだす指導をしています。



カレンダーを使用して内服自己管理が行えるように指導している様子



病室でリハビリスタッフとともに嚥下訓練を行っている様子

スタッフ一同、退院後の生活を見据え、個々の患者さんにあわせた退院支援ができるように努めています。

● 新任医師 ①出身大学 ②趣味 ③浜田医療センターについて〈または一言〉



小児科医師
瀧川 遼
(たきがわ・りょう)

- ①島根大学
- ②釣り
- ③短い期間ですが、よろしく
お願いいたします



みなさまのお役に立てるように頑張ります!



がん患者さん・ご家族のための相談会

がん治療の経験者と 話してみませんか

日時

令和2年 2月19日(水)

9時30分～11時30分

予約不要
相談無料

場所

浜田医療センター 2階会議室

(ピアサポーターさん)

研修を受けた相談員による個別相談会です

今回の相談員は 乳がん・大腸がん の経験者です

ご家族の参加もできます

お話をして元気を取り戻しましょう！

プライバシーは厳守いたします

1人で悩まず、どうぞお気軽にお越しください

お問い合わせ先： 浜田医療センター
がん相談支援センター ☎(0855)28-7096

主催：独立行政法人国立病院機構浜田医療センター / 国立大学法人 島根大学

命を守り育む医師を目指して



研修医だより

初期研修医1年目 佐々木 眞優

(H31年3月島根大学医学部卒)



本格的な冬の到来を迎え、寒さが肌をさす今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。1月の「研修医だより」を担当させていただき、初期研修医1年目の佐々木眞優と申します。よろしくお願いいたします。

私は神奈川県出身で、高校卒業まで地元で過ごし、島根大学医学部に進学しました。出雲市で6年間大学生活を送り、今年度の春から浜田市での新しい生活が始まりました。浜田は豊かな自然に恵まれ、海の幸がおいしく、少し車を走らせれば素晴らしい日本海が広がっていて、好きな場所になりました。

さて、初期研修が始まって早くも10か月が過ぎました。昨年の今頃は研修医になることへの期待を抱きながら国家試験に向けて勉強していたことを懐かしく思い出します。幼少期より医師になることが夢でしたが、実際に研修医としての生活が始まると、社会人としても医師としてもまだまだ未熟で、プレッシャーを感じることや戸惑うこともたくさんあります。一方で、できなかったことが少しずつできるようになること、知らなかったことがわかるようになることの喜びを感じる場面も増えてきました。それは指導医の先生方が忙しい合間を縫って私のために時間をつくり、熱心に丁寧にご指導くださるからです。また病院のスタッフの皆様にも気にかけていただいたり、優しくサポートしていただいたりして、私は本当に恵まれた環境で医師としての第一歩を踏み出せているのだと日々実感しています。

現在当院には12人の研修医が所属しています。私は、浜田医療センターに来て、いつでも優しく相談にのってくださる2年目の先輩方や、切磋琢磨しあい、悩んだ時や落ち込んだ時に互いに励まし合える同期に出会い、充実した研修を送ることができています。また卒後3～5年目の後期研修医の先生方も多く、いつも声をかけていただき、身近な存在でありながら、来年や再来年に自分もこうなっていきたいと思うような、目標となる先生方がたくさんいらっしゃいます。

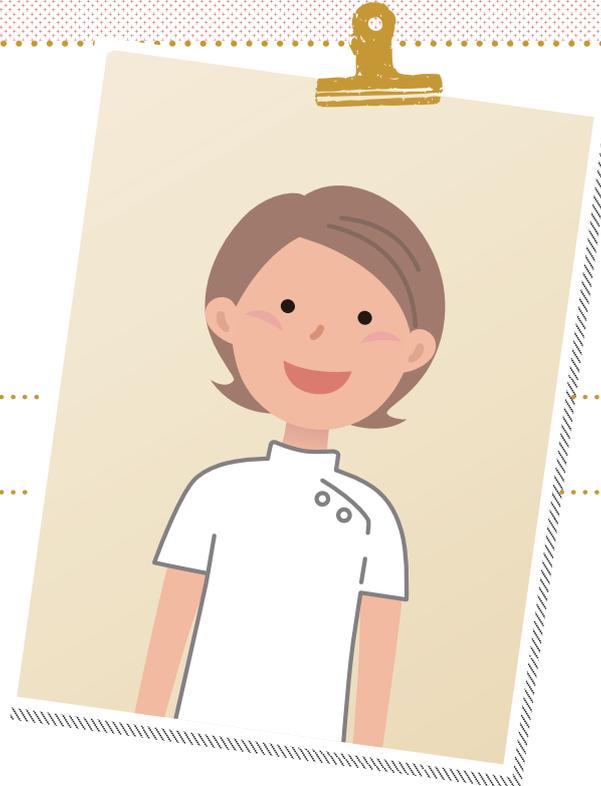
日々の研修の中で、思い描くようにできず、悩みくじけそうになることもあります。これまで患者さんとお話する中で、あたたかい応援の言葉をかけていただくことも多く、とても背中を押されてきました。これからも患者さんお一人おひとりと向き合う時間を大切に、そばにいて少しでも患者さんの笑顔が見られたり、ホッとできる瞬間が増えたりするような医師になりたいと思います。

浜田に来てまだ1年も経っていませんが、たくさんの出会いがありました。ここでの出会いは自分の財産であり、これからも大切にしていきたいです。患者さんや指導医の先生方、病院スタッフの皆様、支えてくださる方々の応援に応え、大きく成長できるように、これからも私らしく努力していきます。

最後になりましたが、拙い文章にお付き合いいただきありがとうございました。くれぐれも体調を崩されませんよう、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

『がん治療と仕事』

緩和ケア認定看護師 竹元 千恵



「がん」は1981年から日本人の死因の第1位であり、生涯のうち2人に1人が「がん」にかかると推測されています。

働き世代では、3人に1人が「がん」と診断を受けており、以下のような不安や悩みも生じるのではないのでしょうか？

「仕事をやめようかな」

「職場にどう伝えたらいいかわからない」

「治療しながらでも働きたい。今の自分にあった仕事を見つけない」

「治療に合わせた短時間勤務や休暇の申請をしたいけどなかなかできない」

「抗がん剤の副作用で仕事に支障がでるかな」

働きながら治療を受けている人も年々増えていきます。「どこに相談したらいいのかわからない」「病院は治療のことや体のことしか言っははいけない」と思っていますか？

病院が1番身近な相談窓口です。仕事を辞めることをすぐ決めるのではなく誰かに相談しましょう。

浜田医療センターにも相談窓口があります。悩んだときは、いつでも相談をしてください。

浜田医療センターでの相談窓口を紹介します。

①がん相談支援センター

浜田医療センター 2階ラウンジ横にあります。平日の9時から17時まで当院の看護師が面談や電話でお話を伺います。相談料は無料です。

②島根県産業保健総合支援センター出張相談窓口

浜田医療センターで島根県産業保健総合支援センターの職員がお話を伺いますが、予約制となっていますので下記にご連絡ください。

場所	浜田医療センターがん相談支援センター
日時	予約制(0852-59-5801) ※がん相談支援センターでもご予約できます
相談料	無料
内容	島根県産業保健総合支援センターから派遣される独立支援促進員がお話を伺います。
お問い合わせ:がん相談支援センター(TEL:0855-28-7096)	

③浜田医療センター緩和ケア認定看護師

患者さんとご家族に寄り添い、医師、薬剤師、ソーシャルワーカー、栄養士、リハビリスタッフ等、たくさんの医療スタッフと連携し患者さんとご家族を支えます。

④島根県がんピアサポーター相談会

がんピアサポーター(所定の研修を終えた、がん治療体験者)が浜田医療センター 2階の会議室でお話を伺います。

今回は2月19日に開催予定です。

場所	浜田医療センター 2階 会議室
日時	2月19日(水) 9:30-11:30 ※がん相談支援センターでも予約できます
相談料	無料
内容	がんピアサポーターが、2人1組でお話を伺います。
※がんピアサポーターとは、所定の研修を終えた、がん治療体験者です お問い合わせ:がん相談支援センター(TEL:0855-28-7096)	

⑤がんサロン(ほっとサロン浜田、ひまわり)

がん治療を経験した方やご家族の交流の場です。

場所	浜田医療センター 6階 多目的室
日時	「ほっとサロン浜田」 毎週水曜日 13:00-15:00 「ひまわり(女性の会)」 毎月第2水曜日 13:00-15:00 ※予約不要 途中参加・途中退席OK
相談料	無料
内容	がん治療を経験された方々やご家族が、治療や生活に関する悩みごとを語り合える交流の場です。
お問い合わせ:がん相談支援センター(TEL:0855-28-7096)	

②から⑤に関してはがん相談支援センターや各外来診療科にお問い合わせください。

また、治療と仕事の両立支援に関するパンフレットをがん相談支援センターや各外来診療科に設置しています。ぜひ、ご活用ください。

国立病院総合医学会 に参加して①

4階南病棟 看護師
田中 智尋



私は、4階南病棟で勤務しています。4階南病棟は地域包括ケア病棟として開設し、今年度で6年目になります。地域包括ケア病棟とは、急性期の治療を終え病状が安定した患者さんに対して、在宅や介護施設への退院に向けた医療や支援を行う病棟です。患者さんの退院を支援するために、多職種での話し合いをもとに患者さんやご家族の方に在宅での日常生活について指導し、ケアマネージャーや訪問看護師に情報を提供しています。

私は、今回、名古屋国際会議場で開催された第73回国立病院総合医学会に初めて参加しました。「地域包括ケア病棟における退院支援の取り組み～リフレクションを活用して～」というテーマでポスター発表をしました。この研究発表を通し、リフレクションを行い振り返ることは、スタッフの退院支援の取り組みへの意識付けとなり、具体的な退院支援に繋がることがわかりました。患者さん個々により退院支援は異なります。患者さんの個性に合わせた退院支援を行うためには、患者さんの思いや状態を把握し、そこから問題点を抽出してチーム内で患者さんの情報を共有し他職種でカンファレンスを行う必要があります。問題点を解決するためには患者さん・ご家族の方とのコミュニケーション、他職種とのカンファレンスが大切であることを再認識することができま

した。また、自己の看護を見つめ直す良い機会となりました。今後は、今回取り組んだリフレクションを病棟に定着させ、質の高い退院支援に繋げていきたいと思えます。患者さんやご家族の方が安心して在宅や介護施設に退院できるよう、一緒に退院後の生活をイメージし、患者さん・ご家族の思いを傾聴しながら支援を行っていききたいと思います。

学会では、他病院の地域包括ケア病棟での取り組みを聞くことができとても参考になりました。学会後は、名古屋観光や伊勢神宮を参拝することができ、リフレッシュすることができました。今回の学会での学びを日々の業務に生かし、より良い退院支援ができるよう取り組んでいきたいと思えます。



国立病院総合医学会 に参加して②

言語聴覚士
福原 実乃里



11月8日、9日に名古屋で開催されました、第73回国立病院総合医学会に参加してきました。今年は「令和における国立医療の挑戦～明日は変えられる～」というテーマにて行われました。このテーマにはこれから医療・医学はAIやビッグデータ、ゲノム医療など最新技術を取り入れつつ進歩していかねばいけないことから“大胆な変革”という思いが込められているそうです。

日頃行われている研究・業務に関する内容、症例発表など医師から事務まで幅広い職員が発表され、多職種による情報交換の場となりました。

今回、私はリハビリテーションの摂食嚥下領域において「頸髄損傷により嚥下障害を呈した患者に対する経口摂取再開を目指した言語聴覚士の関わり」という演題でポスター発表をさせて頂きました。国病学会での発表は初めての経験で、資料集めや分かりやすい情報のまとめ方、ポスターにする際のレイアウトなど悩みましたがとても勉強になりました。また、他の発表者の発表を聞き、自分では行ったことがなかったアプローチ法や考え方、評価の仕方などについて新たに学ぶことができました。

言語聴覚士は主にことばによるコミュニケーションや

嚥下（飲み込み）に障害のある方の支援をするのが仕事です。私の発表では嚥下に障害があり、経口摂取再開まで難渋した症例を取り上げ、初期評価から退院時の家族指導まで、言語聴覚士として患者・ご家族様への関わりを中心に発表しました。「食べる」ということは生きる上で必要不可欠な行為であり、患者様のQOL（生活の質）を左右する大切なものだと感じます。今回発表した症例は、全身状態の悪化があり呼吸状態も悪い中ではありましたが、どうしたら安全に食事を食べて頂けるのか、どのような訓練・支援がいるのかを改めて考え、自分なりに実行できました。

この度の経験から、今後は臨床で疑問に思ったことや患者様のニーズに合った効果的なりハビリ方法など、研究デザインからしっかりと検討・適切にデータ集めをしていき、よりよい研究発表を行っていきたいと感じました。また、日々の臨床業務の中で患者・ご家族様の思いに寄り添い、障害のある中でもその人らしい生活が送れるように、確かな知識を持ち関わっていきたく改めて感じました。

最後になりましたが、今回の発表にあたりご協力・ご助言頂いたすべての方に感謝申し上げます。



放射線治療専門 放射線技師について

照射主任 伊瀬 尋貴

■放射線治療とは

放射線治療とは、レントゲン写真やCTで使う放射線=X線をがんの部分に照射し、細胞内のDNAに損傷を与え細胞分裂を阻害することで、がん細胞を死滅させる治療法です。

放射線が当たった部分は、がん細胞、正常細胞ともに損傷を受けます。しかし、正常細胞は放射線による損傷から回復する能力があるため、がん細胞が死滅しても、周囲の正常細胞は生き残ることができます。この放射線に対する強さの違いを利用して、放射線治療は行われます。

■がん治療における放射線治療

現在日本では、2人に1人は一生のうち何らかのがんになるといわれており、珍しい病気ではなくなりました。がんは早期発見により治る病気であり、また延命効果がある治療法が増えたことで、「不治の病」から「長く付き合う病気」となりました。その治療は「手術療法」、「薬物療法」、「放射線療法」の3つの治療が行われています。例えば前立腺がんでは、放射線治療は手術とならんで有効な根治療法となっていますが、放射線治療を選択した場合、当センターでは36回の照射を行い、根治を目指します。

■安心・安全な放射線治療のために

放射線は目に見えませんが、体に当たっても何も感じ

ません。初回の治療後に、「もう終わったの?」と言われる患者さんも少なくありません。放射線治療では特に放射線の量が厳しく定められており、ガイドラインではX線出力は±2%以内であるよう求められています。当センターでもそれに則って、毎朝放射線の出力を測定し、線量確認してから治療を行っています。

■放射線治療専門放射線技師について

現在、放射線治療専門放射線技師は全国で1993名、内島根県で11名の登録があります。この資格は診療放射線技師国家資格所持者のうち、放射線治療に高い専門性(放射線治療の実務経験5年)を持つ診療放射線技師に対し試験が行われ、認定資格を得ることができます。私はH26年に放射線治療専門放射線技師を取得し、昨年更新を終えました。

当センターの放射線治療では、治療の中心を可視化したレーザーに、体表に書かれた目印を合わせ、照射ボタンを押し、放射線が1~2分照射され、1日の治療が完遂するまで合わせて10分程です。当センターは一日の患者さんの人数が約15名ほどですので、放射線治療部門はCTやMRIに比べ落ち着いているように見えます。しかし、前記のように放射線出力の品質担保をおこなったり、レーザーが照射野の中心とあっているかなど、品質管理項目が数多くあります。放射線が体に当たるまでに時間をかけ安心安全な医療を提供するのが放射線治療専門放射線技師の仕事の一部となっています。



防火避難訓練を 実施して

5階北病棟看護師長 五百川 明子

消火法の規定では、一定規模の建物の管理権限者は、消火管理者を定め、消火計画を作成し、年2回以上の消火・避難訓練の実施が義務づけられています。浜田医療センターでは、火災発生時に、適切で迅速な避難誘導が実施できるよう、また、職員の防災意識の向上を図ることを目的に令和元年12月16日(月)に防火避難訓練を開催しました。

今回の訓練は、5階北病棟で「昼間想定」での訓練でした。当病棟は、脳血管疾患後遺症の麻痺のため一人での行動が困難であったり、手術等で長期安静に伴う身体機能の低下のある患者が入院される回復期リハビリテーション病棟です。今回、出火場所となったランドリー室は、スタッフステーションのすぐ横であり、ランドリー室より奥に病室があります。独歩3名、車いす3名、担送4名の合計10名の模擬患者を設定し、安全に避難するためにはどうするかを副看護師長や病棟スタッフと話しあいました。

当日13時30分に火災報知器が鳴り、訓練開始となりました。火元を確認し、病棟スタッフや駆け付けた初期消火班が消火器や消火栓を用いて初期消火を行いました。病棟からの通報・報告により立ち上がった対策本部の指示で駆け付けた、避難誘導班とともに独歩・車いす・担送

の模擬患者の順に避難誘導を行いました。また、当日は浜田消防署の方が、指導・講評にいられました。避難誘導の際、消防署の方が模擬患者役に「早くしてください」と声をだすように促されていました。後の講評で、実際の火災では患者がパニックになり声を出したりして現場は混乱すると言われ、「訓練のための訓練になってはいけない」と指導を受けたことが、とても印象に残りました。

今回の防火避難訓練を通して、

- ①患者を安全に避難させるためには、日頃から避難経路や消火栓の位置を確認し、把握することが必要である。
- ②実際の災害の時は、現場は応援スタッフも患者も混乱する。そのため、リーダーのみだけが声を出すのではなく声をかけあい、情報共有をすること。また、患者への声かけを行いながら、患者状態の把握や安心していただく対応をすることが必要である。

等、多くのことを学ぶ機会になりました。

災害が多くなっている昨今、今回の防火避難訓練を通して、災害発生時にどのように行動すればいいかを考えるよい機会となりました。



Hospitality

地域のホスピタリティを訪ねて

「サバカレーパン」で 目指した想い

有限会社 齋藤アルケン工業

代表取締役社長 齋藤 憲嗣



「プチマタン」のスタッフさんと共に作ったサバカレーパンと一緒に

誰かのために役立てることが"やりがい"

先代が立ち上げた内装業の市場減少もあり、事業継承で悩み、仕事や家庭、全てがどん底だった頃、経営について相談していた方から「何がしたいのか?」と問われ、苦しい自分から出たのは「人の役に立つ仕事がしたい」と言葉でした。それがきっかけで、介護事業を立ち上げました。当初の数年は上手くいかない日々が続きましたが、諦めずに歩みを止めなかったお陰で今があります。

現在は、人の役に立てる仕事「ありがとう」をいただく仕事を日々追求し、地域で必要とされる存在でいられるように、やりがいを持ち、日々、会社の仲間たちと精進しております。主な事業は4つあり、浜田市内で「介護事業」、介護施設へ食事を提供する「食品事業」、イベントでのゴミ削減のためリユース食器をレンタルする「環境事業」、住まいの環境を整備する「内装事業」を行っています。

マンネリ化した"介護の食事"を 女子高生とメニュー開発

介護の仕事に携わっていると様々な悩みや問題に直面します。その中の一つに介護施設に食事を提供していると“毎日の食事に飽きてしまう”という利用者さんの悩みがありました。その悩みを解決するため、昨年、島根県立浜田水産高校食品流通科の3年生とコラボして“新メニュー”の開発に取り組みました。

生徒のアイデアは斬新で、浜田港で水揚げされたサバの缶詰を使った「サバカレーパン」を提案してくれ、生徒のみなさんと一緒に開発し、実際に介護施設で提供することができました。当日は、入居している多くの利用者さんの「笑顔」や「ありがとう」に触れられ、大変嬉しかったです。

「サバカレーパン」を商品化しよう! 高校生の未来を応援したいという想いから

介護施設のメニューとして開発した「サバカレーパン」の商品化の切っ掛けは、開発を手伝ってくれた地元の高校生たちにも気軽に食べてもらいたい。高校生と一緒に作ったアイデアが実現することを地域に伝えることで、夢や希望を持ち社会に出ていく高校生たちに、自信を持って色んな

ことにチャレンジして欲しい願いがありました。そんな願いと商品アイデアの反響もあって「サバカレーパン」を商品化が実現し、発売を開始することができました。

なぜ? 製造が障がい者就労支援事業所なのか

女子校生のアイデアで誕生した「サバカレーパン」を作るのは、地元の障がい者就労支援事業所「プチマタン」の方々です。協力を依頼した理由は、障がい者就労B型の賃金体系が生産物に対する成果報酬の「工賃」で支払われるため、商品を多く売れば賃金が増えることを知ったことです。介護事業を展開する中で、現状できる社会貢献を考え、地域の力になればという想いで、製造をお願いしました。お陰様で多くの方々に「サバカレーパン」を食べていただき、嬉しい声もいただくことができました。本当にありがたいことです。

地域みんなで"幸せ"になる

私たちは、地域の様々な困りごとや心配ごとを解決するお手伝いをする事で、地域の方々と一緒に笑顔になりたいと願っています。自分たちの技術や知識では解決できない問題でも、地域の資源や人の繋がり、多くの方々のパワーで住み易く、住みたい地域にしたいなという想いがあります。私自身に気持ちの余力があるうちは、誰かのために役立てるように、そして、みんなで一緒に幸せになるために、わたしたちでは出来ないことをみんなで実現したいと考えています。



県立浜田水産高校食品流通科の3年生とのコラボで誕生した「サバカレーパン」

地 域 人

vol. 39



地域を守り
育む人たち

「元気な故郷、 住みやすい町を目指して」

旭町和田公民館 館長 早田 末男
(わさだ・すえお)

今回の「地域人」は、旭町和田公民館 館長として活躍しておられる早田 末男さんをご紹介します。

私は熊本県生まれで、大阪に就職して生活していました。私が50歳の時の平成10年に、島根県より来られていたふるさと定住財団の方に、興味のある林業の仕事を紹介され家族で移住しました。いわゆる1ターンで旭町にお世話になり、もう21年が経過しました。林業の仕事を約10年努めましたが、予期せぬ腰痛の悪化でリタイヤし、回復後には和田地区にある福祉施設(やすらぎの郷、あさひ園、ひまわり工房)で施設維持や送迎などを手伝っていました。約3年前に和田地区の公民館運営を依頼され、館長として現在に至っています。この仕事を簡単に引き受けてしまったのですが、この和田地区のことを詳しく知っているわけではなかったため、最初の頃はとても苦労して、何故引き受けたんだろうと悔やんだこともありました。

毎年恒例になっている地域の祭り事、町作りでの行事、公民館の事業に参加して思うのは、参加して下さる方は快く参加していただけるのですが、参加人数が少ないことです。先日、集落のサロンに軽い健康運動の指導に行った際、運動のことは大変良いのだが、高齢で足が悪くなり外出しにくかったり、会場への足の確保が難しい(行政ではデマンドバス、タクシーを運行してくれています)との意見を聞きました。送迎の問題点は考えていかなければなりません、住民の方にとっては地区の情報を少しでも早く知りたいとも思いますので、常に話し相手になって公民館へ多くの地域の方が寄り合い話し合える場所になるように心がけています。

公民館事業として、空き地を利用した野菜作り教室も行っています。旭町には矯正施設がありますが、そこから若いご夫婦や、小学生以下のお子さんも多く参加していただいています。子供たちには土遊びや水遊び、芋掘りなどが人気があり、いつの時代もどこの子供も変わらないなと思いました。意外に思ったのは、子供たちだけでなく、親御さんの中にも落花生がどこに実が付くのか知らなかったり、実がなる場所も初めて見る方

が多かったことです。農村で育っていない方にはわからないのは当たり前かもしれませんが、自分で栽培してみても生産者の苦労も実感されたようです。

今後は、地域の高齢化に伴い田畑の耕作放棄地が増えていくことが予想されます。その対策として、今年には公民館で有志を募り、エゴマを実験的に栽培してみました。これが予想していたほどに手間がかからず、少しではありますが収穫まで出来ました。エゴマは需要がありますので、耕作放棄地対策には効果があると思われます。食べると十年長生きが出来る謂われから、ある地方では「ジュウネン」と呼ばれているそうです。これからもエゴマの栽培にチャレンジしていきたいと思います。

最後になりましたが、地域の皆さんが草刈りなどボランティアとして公民館を助けていただいています。ここで御礼を申し上げると共に、これからも地域の方と相談しながら、高齢者を盛り上げ、元気な故郷・住みやすい町作りに頑張っていきたいと思います。



野菜作り教室の風景

看護学校だより

浜田医療センター附属看護学校 <http://www.hamakan-nh.jp/>

ナーシングセレモニーを終えて

1年生 森田 鈴香



令和元年12月4日、私たち67期生のナーシングセレモニーが行われました。ナーシングセレモニーは、看護師を目指す上でとても大切な行事です。当日はナイチンゲール像から継火をひとりひとり受け取り、誓いのことばを唱和しました。

私はナーシングセレモニーのリーダーをさせていただきました。

この経験から、皆で協力することの大切さと、報告・連絡・相談を行い主体的に行動することの重要性を身をもって感じました。準備から式典まで大変なことが多かったですが、67期生38人で力を合わせ、無事にナーシングセレモニーを行うことができて良かったです。

今回のセレモニーで一人ひとりがなぜ看護師を目指そうと思ったのか、どんな看護師になりたいのかを再度胸に刻んだとともに、保護者や先生、先輩の前で言葉にして誓ったことで皆の看護師になろうという決意が一層固まりました。立派な看護師になれるようにこれからも誠実に歩んでいきます。

- 誓いの言葉 -

今日、私たち67期生は、新たな決意を胸に一人ひとりが理想とする看護の道を歩き始めます。

看護師を志すものとしての自覚を持ち、観察力、判断力、洞察力を身に付けることで、正確な知識と的確な技術を提供できるよう、努力を重ねます。

いついかなる時も、本人と家族の意志を尊重し患者の良き理解者になります。

また、患者のことを一番考え、患者に安心と安全を届けます。

私たちの成長を見守り

ご指導して下さるすべての人々に感謝し、患者に笑顔で幸せに過ごしてもらえよう愛情と思いやりを持った看護師を目指します。

以上のことを誓います。

初めての担当学生のナーシングセレモニーを終えて

教員 岡本 諭

今年教員となり、1年生の担任として初めてのナーシングセレモニーを担当し、令和元年12月4日に無事終えることができました。

ナーシングセレモニーを経験したことのない私にとって、準備の段階から戸惑うことも多く、他の先生方の助言を頂きながら準備を進めてきました。一方で、1年生とともに準備を進めていく中で、誓いの言葉やテーマを決めたり、唱和の練習、案内状・しおりの作成など1年生が率先して主体的に行うなど、準備を通して1年生の成長を感じることができました。

セレモニー当日は、ろうそくの火に照らされた1年生の姿を見て、自分自身の学生の時を思い出していました。当時は戴帽式として行われていましたが、看護師を目指す決意と同級生との一体感を感じたことを今でも覚えています。

これから1年生は実習に向けて研鑽に励んでいくこととなります。今回のナーシングセレモニーでの成長を糧に、更なる高みを目指して行ってほしいと思います。



浜田医療センター院内 クリスマス会を開催して

令和元年12月18日に浜田医療センター正面玄関ホールでクリスマス会を開催しました。また、入院中の患者さんにも季節を感じてもらえるように学生が病棟や病室を訪問し、クリスマスカードを手渡しました。病室でも楽しんでもらえるように院内訪問を行いました。



2年生 和田 咲樂 余村 唯

私たちは正面玄関ホールを担当しました。患者さんや、病院に来られる方に楽しんでもらえるようなクリスマス会を企画し、学生によるハンドベルの演奏や合唱、保育園児による歌とダンスでクリスマス会を盛り上げました。また、病室の患者さんにもご覧いただけるようにしました。素敵な演奏やダンスにより病院全体が明るく楽しい雰囲気になりました。病院でクリスマスをむかえられる患者さんにクリスマスの雰囲気を感じてもらえることが出来たと思います。多くの方の健康をお祈りしています。

2年生 二上 穂乃香

私たちは浜田医療センターの各病棟を訪問し、患者さんへクリスマスカードをお届けしました。患者さんはクリスマスカードをととても嬉しそうに受け取ってくださったので、看護学生で協力して、頑張って作ってよかったなうれしく思いました。多くの患者さんと関わり、喜ばれる姿を見て、とてもいいクリスマス会になったと思います。



万灯山公園 イルミネーション点灯式への参加

1年生 植田 絢香 稲若 沙姫



私たち1年生の7名は、令和元年11月23日に万灯山公園の点灯式に参加しました。私たちの他にも、浜田市の合唱団の方など地域の方々が多く参加しておられました。合唱団の方々の歌声は、とても綺麗で会場全体が一体となっていました。私たちは、ハンドベルで「きよしこの夜」を演奏しました。ハンドベルでの演奏が未経験のメンバーもいて緊張しましたが、メンバー全員で協力し放課後を利用してたくさんの練習を重ね、当日は楽しんで演奏することができました。私たちの出番以外にも、会場全体で歌を歌ったり、カウントダ

ウンをして、地域の方々と一緒に楽しむことができとても良かったです。

点灯式が終わった後にも、地域の方々にお話を伺うなど、短い時間ではありましたが、子供から大人までの幅広い世代の地域の方々に関わる機会ができました。

今回の点灯式を通して、地域の方々に関わることができる活動に積極的に参加していきたいと改めて思いました。今年1年生の中からは7人の参加でしたが、来年は多くの学生に参加してほしいと思いました。

浜田のごちそうを食べに行こう



はまごち

浜田の五地想ものがたり
推進協議会事務局の冊子
「浜田のごちそう食べに行
こう はまごち」に掲載さ
れている飲食店を順次掲
載していきます。

協力／浜田市観光交流課

割烹居酒屋

きらく
木楽

浜田市相生町3845
☎0855-25-5715

個室
あり



木楽定食 1,500円(税別)

旬の味覚が満喫できる季節の盛り合わせとお刺身がセッ
トになった定食。昼はさらに天ぷらがついて、もっとお得
に美味しく召し上がってください。

営業／ 11:00 ~ 14:00
(ラストオーダー 14:00)、
18:00 ~ 22:30
(ラストオーダー 22:00)

定休日／ 水曜日

駐車場／ あり



イタリア料理

オリゾンテ

浜田市原井町1203-1
☎0855-23-8006



浜田港水揚げ旬魚と地元野菜のピッツァ 1,350円(税込)

石窯で焼き上げる本格ピッツアです。浜田港で水揚げさ
れた旬の鮮魚と地元産の野菜を使用し、香り豊かに高温
で一気に焼いたピッツアは、外はカリッと、中はもっちり
しています。

営業／ ランチ/11:30 ~ 14:00
カフェ /14:00 ~ 17:00
ディナー/17:00 ~ 20:30
(ラストオーダー 20:30)

定休日／ 木曜日 (GW、お盆、
正月は無休)

駐車場／ あり



くじら亭

浜田市三隅町岡見661-1
☎0855-32-3142

個室
あり



くじら御膳 3,000円(税込)

くじら御膳：甘みのある赤肉の刺身は生姜醤油で、希少部位
のさえずり、おばいけはポン酢やレモンで
さっぱりと味わおう。(7日前までに要予約)

漁師丼：浜田漁港水揚げの旬のお魚を、
独自の醤油ダレに漬け込みました。



漁師丼 1,000円(税込)

営業／ 11:30 ~ 13:30、
18:00 ~ 22:00
(ラストオーダー 21:30)

定休日／ 火曜日

駐車場／ あり



※消費税改定により価格が変更になる場合がありますので、ご了承下さい。

冬の特別メニュー

栄養管理室

入院されている皆様の食事サービス向上のため、特別メニューとして趣向を凝らした御料理を和食と洋食の2種類をご用意させていただいております。

御料理の内容は、旬の食材や地元の特産品を使用し、季節感の味わえる内容に仕上げております。御品書きには、使用している食材の栄養成分についてや、それぞれの料理に込めた思いを添えさせていただいております。

季節ごとにメニューを更新し、旬の食材をはじめ、注目を集めている食材や調理法を取り入れていきたいと思っております。ぜひ一度お試しください。

特別メニューは

- **実施日** 夕食 曜日ごとに病棟交代
 ㊦ 3北・3南 ㊦ 4北・4南
 ㊦ 5北・5南・緩和
- **対象** 並菜の患者さん
 ※先着5名様まで(アレルギー等の対応はできません)
- **料金** 別途1,000円(税込み)いただきます。

※和食メニュー、洋食メニューどちらかお好きな方を選択してください。
 ※主治医の許可が必要なためお断りする場合がありますのでご了承ください。

和食



- 牛ほほ肉の煮込み ● のどぐろの唐揚げ
- 海藻サラダ ● 帆立ごはん ● 茶碗蒸し
- 和菓子盛り合わせ(おはぎ・抹茶わらびもち)

洋食



- 贅沢オムハヤシ ● カブのサラダ
- 海老と帆立のカナッペ
- ケーキ盛り合わせ(ショコラケーキ・ミルクレープロール)

募集

看護補助者 (メディカルアシスタント)〈非常勤職員〉

みなさんは看護補助者という仕事をご存知ですか？

看護補助者は医療の現場で看護師のサポートをする仕事です。看護補助者として働く際は、**資格は必要ありません。** やりがいを感じることができる素敵な職業です。幅広い年齢層の方が元気に働いています。



- **内容** 看護補助業務(若干名)
 ※雇用期間: 令和2年3月31日まで(更新の可能性あり)

院内の研修も充実しているので、**初心者の方も**大丈夫です。勤務は週24-32時間で定め、遅出の時は朝ゆっくりできます。平日にも休日があるので用事もまわせることが可能です。

- **勤務時間** 週24-32時間で定めます。
 ※上記時間となるようシフトを組みます。
- ①7:00~13:30 ②7:00~15:00 ③9:00~15:30
 ④11:00~17:30 ⑤11:00~19:00 ⑥12:30~19:00

- **休憩時間** 30~60分

- **給与** 時間給/900円
 諸手当/通勤手当、超過勤務手当
 賞与/年2回7万円程度
 社会保険等/健康保険、厚生年金保険、
 雇用保険

《主な仕事内容》

メッセンジャー	環境整備	食事の配膳	シャワー浴

- **研修内容**
- 医療チームの役割について
- 医療安全 ● 感染予防対策
- 車いす移送、食事介助、入浴介助など日常生活にかかわる業務の講義と実技演習など

お問い合わせ先
 独立行政法人国立病院機構 **浜田医療センター**
 〒697-8511 島根県浜田市浅井町777-12
 ☎0855(25)0505 (平日9時~17時)
 担当: 管理課人事担当

浜田医療センター 外来診療担当医表

令和2年1月6日現在

診療科	診察室	月	火	水	木	金	備考
総合診療科	初診	北條 宣政	矢本 琢真	矢本 琢真 (糖尿病外来)	河田 公子 ^{※1}	北條 宣政	※1 診療時間9:30~ ※2 診療時間10:00~12:00
	再診	河田 公子 (糖尿病外来) ^{※1}	河田 公子 ^{※2}	北條 宣政	-	-	
血液・腫瘍内科		-	島根大学より ^{※1}	-	島根大学より ^{※1}	島根大学より ^{※2}	※1 診療時間9:30~午前のみ ※2 隔週(診療時間9:30~午前のみ) 電話にてお問い合わせ下さい
腎臓内科		岩下 裕 ^{※1}	岩下 裕子 ^{※2}	大庭 雅史 ^{※1}	岩下 裕 ^{※1,3}	岩下 裕子 ^{※1}	※1 診療時間9:30~12:30 ※2 紹介患者のみ ※3 初診は紹介患者のみ ※4 第2・第4木曜日
特殊外来		-	-	-	透析予防外来 ^{※4}	-	
内分泌・代謝内科		島根大学より	-	-	島根大学より	-	
呼吸器内科	1診	白築 陽平 [※]	柳川 崇 [※]	島根大学より [※]	柳川 崇 [※]	柳川 崇 [※]	※ 初診は紹介患者のみ
	2診	-	島根大学より	-	白築 陽平	-	
脳神経内科		-	島根大学より	-	-	木谷 光博 [※]	※ 午後のみ
消化器内科	初診	高橋 佑典	生田 幸広	岸本 健一 田中 晋作	大嶋 直樹	張 優美	
	再診	張 優美	高橋 佑典	大嶋 直樹	岸本 健一 田中 晋作	生田 幸広	
循環器内科	初診	飯田 博 [※]	特殊検査日 (休診)	松田 晋 [※]	特殊検査日 (休診)	明石晋太郎 [※]	※ 紹介患者のみ
	再診	松田 晋		明石晋太郎		飯田 博	
午後外来		ペースメーカー外来	-	失神外来	-	岡田 大司	
小児科	初診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	外来担当医 齋藤恭子・瀧川 遼 ※1 1才以上 診療時間10:00~ 1才未満 診療時間13:30~ ※2 診療時間13:00~ 完全予約制 ※3 毎月第1・第3木曜日 完全予約制 ※4 毎月第3水曜日 完全予約制
	再診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
午前予約外来		-	予防接種 ^{※1}	-	-	-	
午後予約外来		フォローアップ外来 (再診)	予防接種 ^{※1}	フォローアップ外来 (再診)	フォローアップ外来 (再診)	1か月健診 ^{※2}	
特殊外来		-	-	-	内分泌外来 ^{※3}	-	※4 毎月第3水曜日 完全予約制
		-	-	神経外来 ^{※4}	-	-	
外科	1診	栗栖 泰郎	永井 聡	栗栖 泰郎	渡部 裕志	高橋 節	
		-	-	永嶺 彩奈	-	-	
午後・特殊外来	2診	-	-	-	ストーマ外来 [※]	-	※ 診療時間8:30~14:00
乳腺科		吉川 和明	-	-	吉川 和明	吉川 和明	
整形外科	1診	渡辺 洋平	柿丸 裕之	担当医 ^{※1}	柿丸 裕之 (脊椎外来)	手術日	※1 初診・紹介患者のみ ※2 隔週火曜日 紹介患者のみ
	2診	沖田 聡司	重高 智弘	手術日	渡辺 洋平	-	
	3診	-	-	-	猪木迫彩香	-	
関節リウマチ外来		-	近藤 正宏 ^{※2}	-	-	-	
形成外科		担当医 [※]	-	-	-	-	※担当医 松江J赤医師・島根大学医師 ※毎週月曜日(診療時間10:30~15:00)
脳神経外科		加川 隆登 [※]	手術日(休診)	木村 麗新 [※]	-	-	※初診は紹介患者のみ
呼吸器外科		小川 正男	手術・特殊検査 (休診)	小川 正男	手術・特殊検査 (休診)	小川 正男	
心臓血管外科		石黒 眞吾	手術日(休診)	岸本 望	手術日(休診)	石黒 眞吾	
皮膚科		進藤 真久	手術・特殊検査 (休診)	進藤 真久	進藤 真久	進藤 真久	
泌尿器科		手術日(休診)	盛谷 直之	盛谷 直之	盛谷 直之	盛谷 直之	
産婦人科	1診	小林 正幸	折田 剛志	吉村 由紀	折田 剛志	小林 正幸	※1 診療時間13:00~14:30 ※2 診療時間9:00~11:00 ※3 診療時間9:00~12:00 ※4 診療時間13:30~15:00 ※5 診断時間11:30~12:00、13:30~15:30 ※6 診療時間13:00~15:00
	2診	折田 剛志	吉村 由紀	小林 正幸	吉村 由紀	吉村 由紀	
午後外来		超音波外来 ^{※4}	産後2週間健診 ^{※5}	産後2週間健診 ^{※5}	-	産褥外来 ^{※6}	
眼科		井上真知子	手術日(休診)	井上真知子 [※]	井上真知子	井上真知子	※ 毎週水曜日(診療時間9:00~)
耳鼻咽喉科		-	鳥取大学より ^{※1}	-	-	鳥取大学より ^{※1}	※1 午前のみ(診察時間8:30~12:00) 初診は紹介患者のみ
午後外来		鳥取大学より ^{※2}	-	-	鳥取大学より ^{※2}	-	※2 午後のみ(受付時間12:00~16:30) 診察時間15:00~17:00
放射線科		吉田弘太郎	特殊検査日 (休診)	特殊検査日 (休診)	特殊検査日 (休診)	吉田弘太郎	
緩和ケア外来		-	担当医 [※]	-	-	-	※ 診療時間13:30~15:00
リハビリテーション科		-	-	-	-	-	入院患者のみ
麻酔科		担当医 [※]	担当医 [※]	-	担当医 [※]	-	※ 診療時間 9:30~ 術前診療のみ
歯科口腔外科		辰巳 博人 [※]	辰巳 博人 [※]	手術日	辰巳 博人 [※]	辰巳 博人 [※]	※ 初診は紹介患者のみ

診療受付時間／午前8時15分～午前11時00分(再来受付機は午前8時より稼働)

原則予約制

- ★ 紹介状をお持ちの方は地域医療連携室を通して予約をお願いします。
- ★ ご予約がない場合は、来院日に診療が受けられない場合もございますのでご了承ください。

新年明けましておめでとうございます。皆様、お正月はどのように過ごされましたか。浜田に赴任して初のお正月でしたが、相変わらず寝正月。新春特番を横目にぐうたらに過ごしましたら、お腹の周りが気になってきました。そんなお腹を引き締めるながら、公私共に充実できるような1年としたいです。本年も浜田医療センターをよろしく願い申し上げます。(H. T)

